

#5 愛の中で交わりを維持する命の洗い BEV1/2-8

ヨハネによる福音書はしるしの書ですから、ヨハネ13章で足洗いについて記録されていることは、しるしと考えられるべきであり、そのしるしは霊的な意義を持つ象徴です。A 足洗いは単に物質の意味で取られるべきではなく、それにもまして内在的に、さらに深く、さらに重要で、霊的な意味で取られるべきです。B ヨハネ1章～12章で、主は命として来て、再生された者たちから成る召会を生み出しました。再生された者たちは彼らの霊において、神の中におり、天上にいますが、彼らは体において、依然として肉体の中で生きており、地上を歩いています。これは私たちに、ヨハネ13章における主の交わりの必要を見せています。

II 「イエスは、この世を去って父へと至る時が来たことを知り、世にいるご自分の者たちを愛し、極みまで愛された。...イエスは、父がすべてをご自分の手に与えられたこと、またご自分が神から来て、神に行こうとしていることを知って、晩餐の席から立ち上がり、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って、腰に巻かれた。それから、たらいに水を注ぎ入れ、弟子たちの足を洗い、腰に巻いた手ぬぐいでふき始められた」(ヨハネ13:1,3-5) A 主が脱いだ上着は、主の表現における主の美德と属性を表徴します。ですから、彼は、ご自身の表現において彼であるものを脱いでいました。

B 主が手ぬぐいをご自身の腰に巻くことは、彼がへりくだりをもって縛られ、制限されることを表徴します。

C 古代、ユダヤ人はサンダルをはきました。道路はほこりが多かったので、彼らの足は容易に汚れました。彼らが宴席に来て、食卓に座り、足を伸ばすと、汚れと悪臭は確かに交わりを阻害しました。ですから、宴席が喜ばしくなるために、彼らは足洗いを必要としました。D 主は弟子たちの足を洗って、彼が彼らを極みまで愛したことを示し、同じことを互いに愛の中で行なうように命じました。1 「それで、主であり先生である私が、あなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合うべきである」(ヨハネ13:14)。2 「私は新しい戒めをあなたがたに与える。互いに愛し合いなさい。私があなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」(ヨハネ13:34)。

E 主が弟子たちの足を洗ったことは、彼らの汚れを洗い去って、彼らと主との、また互いの交わりが維持されることができたためでした。

III 私たちの経験において、足の汚れは、この世との接触を通して神から分離するもの、また互いを分離するものを表徴します。足洗いは、霊的な新鮮さと活力の回復、私たちと主との、また互いの交わりの回復を表徴します。A 私たちの経験において、ヨハネ13章の洗う水が表徴するのは、聖霊、言葉、命です。主が私たちの足を洗うのは、聖霊の働きによっ

て、生ける言葉の照らしによって、内なる命の法則の活動によってです。テトス3:5 彼は私たちを救ってくださいました。それは、...彼のあわれみによってであり、再生の洗いと聖霊の更新を通してです。ヨハネ15:3 私があなたがたに語った言のゆえに、あなたがたはすでに清いのである。B これは、血によって私たちの罪を洗い去ることではありません。こういうわけで、ヨハネ12章の後、13章におけるそのようなしるしの必要があるのです。霊的な足洗いは私たちを、私たちと主との交わりにおける古さから救います。C 今日この世は汚れており、私たち、聖徒は容易に汚染されます。私たちは主との、また互いの喜ばしい交わりを維持するために、主によって彼の愛の中で、また互いによって愛の中で遂行される霊的な足洗いを必要とします。D これは、私たちが神聖な命の交わりの中で生きるために絶対に必要です。神聖な命の交わりは、ヨハネによる福音書の継続であるヨハネの第一の手紙で啓示されています。

IV 私たちは洗いを経験するために、主の臨在の中で、またその霊と言葉と神聖な命とに満ちている聖徒たちと、時間を費やす必要があります。A 私たちが主の臨在の中にとどまるなら、主は私たちに来て私たちを洗います。それは血をもってではなく、その霊、生ける言葉、内なる命をもってです。B 「あなたがたも互いに足を洗い合うべきである」(ヨハネ13:14)。ヨハネ13:15 私があなたがたに行なったように、あなたがたも行なうようこと、私はあなたがたに模範を与えたのである。C 私たちは他の人の足を洗おうとするときはいつも、主の模範に従って「私たちの上着を脱ぐ」必要があります。これは私たちの成就したこと、美德、属性を脱ぐことです。D 手ぬぐいを腰に巻くことは、私たちが縛られ、進んで自分の自由を失うことを意味します。私たちは、私たちの愛する兄弟姉妹に命を供給するために、自分の自由を放棄します。

V 私たちはそれぞれ、どのように兄弟姉妹を愛して、霊的な足洗いをもち彼らに仕え、彼らを地的な接触から清めるかを学ばなければなりません。これは彼らを新しく、新鮮に、生きたものに保ちます。私たちがこのように互いに愛し合うことは、私たちがキリストに属していることとしるしです。ヨハネ13:35 あなたがたが互いに愛し合っているなら、これによって、すべての人は、あなたがたが私の弟子であることを知るようになる。A 要約すると、汚れた足は、私たちと主との交わりの古さであると言えます。しかしながら、清い足は、主との新鮮な交わりを指しています。1 五年か十年前のように、今日、主を尊び愛していると言うことができる人は多くありません。多くの人は、一年前に持ったのと同じ感覚を持っていないと言わなければなりません。B 主は常に新鮮であり、私たちが絶

えず新鮮であって、靈的に無気力にならないことを願っています。こういうわけで、彼は私たちを緑の牧場に伏させ、憩いの水辺に私たちを伴い、私たちの魂を回復するのです。足洗いは、私たちと主との間の親密な交わりを維持し、私たちの靈的な活力と靈的な新鮮さを再び燃え立たせます。詩23:2-3 彼は私を緑の牧場に伏させ、憩いの水辺に私を伴わせます。彼は私の魂を回復し、彼の御名のために、私を義の途に導かれます。使徒3:20 それは、新鮮にする時季が主の御前から来て、彼があなたがたのために前もって定められたキリスト、すなわちイエスを遣わされるためです。**C**私たちは決して自分自身を古くならせるべきではありません。古くなるとは、固定され、型にはまり、占有されていることです。私たちは自分自身を主に対して空にし、開き、新鮮にし、新しくし、生き生きとし、若く保たなければなりません。私たちは、実際の霊としての主が私たちを、詩篇110:3の実際へと導いてくださるよう祈る必要があります—「あなたの民は、あなたの戦いの日に、献身の輝きの中で、自発のささげ物となる。あなたの若者はあなたにとって、夜明けの胎から出る露のようになる」。

VI 言いようもない新鮮さ、力、養い、供給が私たちの内側になければなりません。人は私たちと一緒にいると、神を尋ね求めずにはいられなくなります。人は私たちと会い、私たちに語った結果、神を尋ね求めることを願うべきであり、彼らの靈的なエネルギーは復興されるべきです**A**私たちは日ごとに聖霊の更新を必要とします。それは、私たちが常に新鮮で、活力に満ちることができるためです。2コリント4:16 こういうわけで、私たちは落胆しません。それどころか、私たちの外なる人が朽ちていっても、私たちの内なる人は、日ごとに新しくされていきます。**B**足洗いが意味するのは、私たちの以前の感覚を回復し、私たちを命の新鮮さと新しさに戻し、私たちに新鮮な力を与えて、私たちが以前いかに主を私たちの初めの愛として尊び、彼を万物のうちで第一位としたかを回復するということです。ローマ6:4 こういうわけで、私たちは彼の死の中へとバプテスマされることを通して、彼と共に葬られたのです。それは、キリストが御父の栄光を通して死人の中から復活させられたように、私たちも命の新しさの中を歩くためです。**C**私たちは、主を私たちの勝利を得る命として享受せず、その霊の助けを得てそのような命を生かし出すことがないなら、他の人の足を洗うことはできません。私たちの中のその霊は私たちの慰め主、私たちの案件、動機、諸事を顧みてくださる方です。**D**私たちはみな自分の足が洗われる必要があり、私たちはみな準備されて他の人の足を洗う必要があります。クリスチャンの互いの奉仕の間で、足洗いほど重要で尊

いものはありません—「これらの事を知って、それを行なうなら、あなたがたは幸いである」(ヨハネ13:17)。**VII** 足洗いは、主が私たちを極みまで愛して、私たちの極みまでの必要に応じてくださるという事柄です。私たちはそれぞれ、どのように兄弟姉妹を愛して、靈的な足洗いをもって彼らに仕えるかを学ばなければなりません**VIII** 靈的な足洗いがなければ、召会生活は実際化されることができず、召会生活の実際はなくなります**A**他の人の足を洗うために、私たちは日ごとに聖霊で満たされ、絶えず主と交わり、ミングリングされた霊の中で生きなければなりません。エペソ5:18 また酒に酔ってははいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ霊の中で満たされ[なさい]。**B**ですから、日ごとの足洗いは確かに、一方で主ご自身によって行なわれ、もう一方ですべての聖徒たちによって行なわれる必要があります。その時、私たちはすばらしい交わりを維持することができ、それをもって真の召会生活を持ちます。**C**「私は、ステパナとポルトナとアカイコとが来てくれたことを喜んでいました。なぜなら、彼らはあなたがたがいなくなったその欠け目を、補ってくれたからです。彼らは私の霊とあなたがたの霊を、新鮮にしてくれたのです。ですから、そのような人たちを重んじなさい」(1コリント16:17-18)。**D**どうか私たちが毎日、新鮮で靈的な経験を持ちますように。ローマ15:32は言います、「あなたがたと共に自分自身を新鮮にし、安息するのです」。これが足洗いの結果です。

神戸に在る召会 交わりと報告事項

1. 朝毎復興について:

今、追求している2022年10月ITEROの内容は、#5をした後、1/9の週から2022年Thanks giving dayの内容に入ります。追求していない#4、6、7、8の内容は、YouTube福音集会の主題に使用します。担当地区は以下の通りです。

1/8 本山G	10月ITERO#4
1/15 六甲	10月ITERO#6
1/22 YPG	10月 ITERO#7
1/29 夙川	罪人に対する三一の神の愛
2/5 三宮・神戸	10月ITERO#8

2. 年始のスケジュール:

詳細は祈り集会でお知らせしたカレンダーを見てください。

CP1私たちは洗いを経験するために、主の臨在の中で、またその霊と言葉と神聖な命とに満ちている聖徒たちと、時間を費やす必要がある

IVA私たちが主の臨在の中にとどまるなら、主は私たちに来て私たちを洗います。それは血をもってではなく、その霊、生ける言葉、内なる命をもってです。**1**私たちはそのような洗いの必要があるときはいつも、ただ自分自身を主に開いて、彼の臨在の中で時間を費やし、内なる命に私たちの内側で流れさせることができます。ヨハネ 13:14-15 それで...私が、あなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合うべきである。私があるあなたがたに行なったように、あなたがたも行なうようにと、私はあなたがたに模範を与えたのである。**B**「あなたがたも互いに足を洗い合うべきである」(ヨハネ13:14)。**2**霊的な足洗いをもって互いに仕えることは、私たちが地的な接触から清く保つことができます。私たちは地上で歩き、働いているとき、私たちの霊の中で主が直接、足洗いをもって仕えることを必要とするだけでなく、兄弟姉妹からの足洗いも必要とします。**C1**私たちは自分自身を低くし、自分自身をむなしくしなければなりません。多くの人は霊的であるという上着を着て、他の人を見下します。彼らは霊的であることを誇っています。**D**手ぬぐいを腰に巻くことは、私たちが縛られ、進んで自分の自由を失うことを意味します。私たちは、私たちの愛する兄弟姉妹に命を供給するために、自分の自由を放棄します。

主の臨在の中にとどまっていなさい。そうすれば、主はあなたに来て、血をもってではなく、その霊、生ける御言、内なる命をもって、あなたを洗ってくださるでしょう。…時には、その汚れを洗い落とすのにわずか二、三分しかかかりません。時には半日かかるかもしれません。毎回そのような洗いを必要とする時は、自分自身を主に開き、主の臨在の中で時を過ごして、内なる命にあなたの内側を流れさせなさい。自然に、生きたものが流れ、あなたを潤し、洗って、あなたは再び清くなるでしょう。あなたの霊は引き上げられ、あなたの全存在は主の臨在の中で非常に喜ばしくなるでしょう。

私たちは互いの足を、聖霊の働きを供給することによって、御言の照らしを供給することによって、内なる命の活動を供給することによって、洗わなければなりません。このようにして、私はあなたを助け、あなたは私を助け、私たちは互いが聖霊の働きの中で、御言の光の中で、内なる命の活動の中で、洗われるように助け合います。

適用:青少年・大学生、新人編

あなたが霊的な洗いを経験する秘訣はキリストと召会です。キリストと個人的に、ありのまま、正直に交わるようにしてください。あなたは自分の勉強や友人関係などの問題や悩みを持っていても、主に行くことができます。重要なことはごまかしたり、嘘をついたりせず、ありのまま、正直に、主の御前に出て交わってください。霊と真実をもって主に行かなければ、主とのパースン対パースンの、或いはFace-to-faceの関係を築くことはできません。主との個人的な交わりの時間を費やす時、ごまかし、嘘、虚栄などを捨てて、単純に、純粋に主に行くことを訓練してください。

さらに、あなたは命と奉仕において前進している兄弟姉妹で、あなたを顧みている聖徒につながってください。主は直接あなたを成就するのではなく、これらの人たちを通してあなたを成就します。あなたはこれらの主の中の前面の聖徒たちと時間を費やしてください。あなたは彼らから離れると、直ぐに主から後退していきます。

証私の義理の父母は、台北第4集会所に属し、自分の家を開き、小組集会、主日集会を行っていました。当時この家は誰も住んでいませんでしたが、集会のために彼らは所有していました。彼らは家を開き、いつも気前良く兄弟姉妹を接待していました。第4集会所の長老や同労者の兄弟たちもオープンで、親しみやすく、いつも聖霊で満たされていました。彼らとの接触を通して、私の足は洗われました。私はこの洗いによって、自分が個人主義で、心の狭い人であることが分かりました。このままでは、人に関心がないので、兄弟姉妹を接待し、供給し、足を洗うことはできないことに気付きました。私は祈りました、「私は私の家の古い習慣と日本の文化の中に埋没しており、必ずしも罪深くなくても、個人主義的で汚れています。このままでは、奉仕をすることができません。私を憐れんでください。私の古い性情を命の中で洗ってください。有機的に私を造り変えてください」。

帰国後、台北の義父母や長老たちの模範に習い、私も広い心をもって積極的に、家を開いて集会し、接待することができました。

祈りおお主イエスよ、罪がある時、主の血で洗われる必要がありますが、特に罪がなくても、生活の中で汚れ古くなります。ですから主の臨在の中で、その霊をもって洗われる必要があります。主からの直接の足洗いだけでなく、私を顧みてくださる前進している兄弟姉妹につながって、彼らから、聖霊の働きの中で、御言の光の中で、内なる命の活動の中で、足洗いを受けます。

CP2日ごとに主と交わり、聖霊で満たされ、互いの足洗いを実行して、召会生活の実際を持つ

VII足洗いは、主が私たちを極みまで愛して、私たちの極みまでの必要に応じてくださるという事柄です。私たちはそれぞれ、どのように兄弟姉妹を愛して、霊的な足洗いをもち彼らに仕えるかを学ばなければなりません**VIII**霊的な足洗いがなければ、召会生活は実際化されることができず、召会生活の実際はなくなります**A**他の人の足を洗うために、私たちは日ごとに聖霊で満たされ、絶えず主と交わり、ミングリングされた霊の中で生きなければなりません。**B**ですから、日ごとの足洗いは確かに、一方で主ご自身によって行なわれ、もう一方ですべての聖徒たちによって行なわれる必要があります。その時、私たちはすばらしい交わりを維持することができ、それをもって真の召会生活を持ちます。**D**どうか私たちが毎日、新鮮で霊的な経験を持ちますように。

仮にあなたがその日の仕事を終えて、疲れを感じるとします。あなたは自分の口から何の賛美もすることができません。夜あなたが集会に来るとき、だれかがあなたに祈るように求めます。祈りの途中で、進むことができなくなり、祈るのをやめます。あなたは、自分の祈りは作文にほかならないと感じます。しかしながら、おそらくその集会で一人の兄弟が新鮮な霊を持っていて、彼の祈りがあなたの霊を新鮮にします。あなたの霊的な活力は回復されます。これが互いの足を洗い合うことです。私たちは集会に来る多くの時、聖徒たちの霊が弱く、またしいたげられていることを見いだします。私たちは祈り、御言を読みますが、何の役にも立たないように見えます。この理由は、みな足の汚れ、足を洗うための一たらいの水がないからです。それは、何か私達の霊を抑制しているかのようです。この時、だれかが立ち上がり、祈りをささげたり、数句の言葉を語ったりして、みな足を洗うなら、集会全体が新鮮にされます。たらいの水がなく、また足洗いがなければ、みな霊の流れが悪くなります。私たちの家庭生活でも同じです。兄弟か姉妹が突然あなたの家に立ち寄り、短時間交わったり証しをしたりするなら、家族全員が神の臨在の中へともたらされます。それまでは、家族の者と神との間に隔たりがありました。そのような簡単な会話の後、すべての隔たりはなくなります。これが互いの足を洗い合うことです。

私たちは、他の人たちの足を洗うことを主の御前で熱望すべきです。他の人の足を洗うために、私たちに水がなければなりません。すなわち、私たちは聖霊で満たされて、絶えず主との交わりの中に

いなければなりません。このために、私たちは日ごとに聖霊の中で生活しなければなりません。そのときはじめて、私たちは生ける水を持ち、他の人の足を洗います。毎回私たちが集会に来るとき、生ける水を持ち、他の人の足を洗わなければなりません。

適用:ビジネスパーソン、大学院生編

私たちは互いの足洗いを必要としています。あなたは私の足を洗い、私はあなたの足を洗います。あなたは決して、「私は足を洗ってもらっただけで、他の人の足を洗うことはできません」と言うてはいけません。召会生活の足洗いは、相互の足洗いです。あなたが享受したキリストの分に従って、あなたは他の兄弟姉妹の足を洗うことを学んでください。**証**私は仕事を始めてから、忙しいビジネス・ライフの中で、知らず知らずのうちに汚され、霊が古くなり、弱くなっていました。私は洗われる必要がありました。そのために、忙しい仕事から急いで帰り、祈りの集会などに参加した時、自分の霊を活用し、兄弟姉妹の交わりや祈りを聞くように訓練しました。私が霊を活用し、心と霊を兄弟姉妹と聖霊に開いている時はいつでも、新鮮な供給を受けました。そして、自分自身も霊を活用して祈ることができました。集会の前は体が疲れていても、集会に参加した後、内側が新鮮にされ、体の疲労も回復されたことを証することができます。

また、召会生活の相互の足洗いについて証します。以前、仕事の事で神戸に交わりに来たことのある他の地方召会の兄弟から、召会生活のために転職することになった、とLINEで知らせがありました。私は直ぐに電話して、彼と転職について交わって祈りました。共に、彼の転職における主の供給と導きに感謝しました。その後、以前彼の交わりに関わったことのある神戸の兄弟姉妹に彼のLINEメッセージを転送しました。ある姉妹が直ぐに祈りを送ってくれましたので、それを彼に転送しました。彼はその祈りを見て大変喜び、直ぐに祈りを送り返してくれました。私は彼に私の分に従って足洗いを実行し、別の人はその人の分に従って、足洗いを実行しました。召会生活の相互の足洗いのゆえに、主を賛美します!

祈りおお主イエスよ、私はビジネス・ライフの中で汚れ、霊が古くなり、弱くなるので、日ごとに洗われる必要があります。仕事が忙しくても召会の集会に参加して、兄弟姉妹の交わりや祈りに開き、霊を活用して祈ることで、洗われることを経験します。また日ごとに聖霊で満たされ、絶えず主と交わり、享受したキリストの分に従って、他の人の足を洗うことも学びます。召会生活の相互の足洗いのゆえに主を賛美します!アーメン!